

特定非営利活動法人
日本慢性疾患セルフマネジメント協会
第 11 回リーダー研修 募集要項

2011 年 11 月 東京

特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会（以下、本会）では2011年11月19～23日の5日間の日程で第11回リーダー研修を開催いたします。リーダー研修の受講を希望し、選考に申し込まれる方は、次記要項をご覧の上、所定の①「選考申込書」に必要事項をご記入いただき②「選考レポート（800字前後）」を添えて本会事務局までお送りください。

募集要項

- 研修の目的：本会が展開する「慢性疾患セルフマネジメントプログラム」の進行役（リーダー）を育成するための研修です。研修修了後、リーダーとして活動を希望する方の応募をお待ちしています。

- 開催日時：

	開催日	時間
1日目	2011年11月19日（土）	9：00～16：30
2日目	2011年11月20日（日）	9：00～16：30
3日目	2011年11月21日（月）	9：00～16：30
4日目	2011年11月22日（火）	9：00～16：30
5日目	2011年11月23日（水・祝）	9：00～16：30

- 開催場所： タワーホール船堀
住所：東京都江戸川区船堀4-1-1（都営新宿線船堀駅より徒歩1分）

- 受講資格： 次の 1) ～ 3) を全て満たす方

1) ワークショップ受講歴： リーダー研修開催日（2011年11月19日）までにワークショップ参加が完了していること

2) 居住地：原則として下表のいずれかの地域（近郊も可）在住で、その地域でワークショップを開催できること

地域	ワークショップ開催予定地
首都圏	・ 東大病院（東京都文京区） ・ 社会保険中央総合病院（東京都新宿区） ・ 埼玉県さいたま市 など
北海道	札幌駅周辺
愛知県	名古屋市内
近畿	兵庫県立塚口病院（兵庫県尼崎市）
高知県	高知市内
九州	福岡県、佐賀県、熊本県

3) 意志： リーダー研修修了後には、本会が主催する習熟のためのフォローアップ研修会などに参加し、定期的にワークショップを運営していく意志があること

<リーダーとしての活動に関する補足>

イ) 5日間の研修後、研修担当者によって受講者全員の修了合否判定を行い、合格された方にはリーダー研修修了証をお渡しします。リーダー研修修了者がワークショップを開催するためには、本要項7ページ以降の「慢性疾患セルフマネジメントプログラム リーダー認定の仕組み」に基づき、本会所定の審査を経ていただきます。詳細につきましては、リーダー研修終了時点で本会事務局からご説明いたします。

ロ) 本会のリーダー認定を受け、リーダーとして活動するためには、本会の ①**個人正会員** であるか ②**リーダー会員** である必要があります（どちらか一方で構いません）。リーダー認定を受けられた方には、速やかに所定のお手続きをお願いいたします。なお、それぞれの年会費は、下記のとおりになります。

年会費 個人正会員 年間 10,000 円
リーダー会員 年間 1,000 円

- 募集定員：20名（予定）

● 受講料：無料

※ただし、受講に際しては参考書『病気とともに生きる』（日本看護協会出版会）が必要であり、お持ちでない方は一般の書店か本会でお買い求めいただくことになります。金額は税込みで3,780円です。

なお、リーダー研修を受講される方の研修会場までの交通費（路線の経済性と所要時間を勘案した交通費）につきましては、その実費を支給いたします。また、研修会場までの移動距離が片道100km以上、あるいは移動時間が片道2時間以上を要し、かつご本人が宿泊を希望する場合には、1泊7,000円を限度に宿泊費の実費を支給いたします。宿泊対象地域等の詳細は、事務局までお問い合わせください。

● 選考：

- 1) 受講を希望される方には、必要事項を記入した「①リーダー研修選考申込書（本要項5～6頁）」と、次の3点の内容を盛り込んだ800字前後の「②選考レポート」を提出いただきます。

- | |
|--|
| 1. これまでのご自身と慢性疾患との関わりについて
2. セルフマネジメントプログラムに興味をもったきっかけ
3. 今後リーダーとしてどのような活動をしていきたいか |
|--|

注：選考レポートの用紙はA4サイズでお願いします。原稿用紙やレポート用紙など、ご自由にお使いください。なお、応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。

- 2) 選考は本会プログラム委員会が行い、受講資格要件を満たしていることが確認された方の中から、提出いただいた書類の内容を総合的に審査し決定いたします。

● 応募締切： 9月12日（月）必着

※選考結果は、9月30日（金）以降に、順次、発送いたします。

● 選考申込書・選考レポート送付先

〒108-0074

東京都港区高輪 3-22-12 全社連研修センターオフィス 2階

日本慢性疾患セルフマネジメント協会 事務局

「2011年度東京リーダー研修選考申し込み」係

● お問い合わせ先

日本慢性疾患セルフマネジメント協会 事務局

Tel : 03-5449-2317

E-Mail : info@j-cdsm.org

第11回東京リーダー研修選考申込書

西暦 年 月 日 現在

ふりがな			印	顔写真貼り付け欄 (横3cm×縦4cm)
氏名				
生年月日	西暦	年 月 日 (満 才)		
性別	男 ・ 女			
申込者 慢性疾患をもつ人 ・ 慢性疾患をもつ人の家族 ・ 医療従事者 ・ 患者会関係者・ その他()				
現住所	〒 -			
電話	() -	FAX	() -	
携帯電話	() -	同居家族 (本人以外)	人	
E-mail				
所属 患者会				
職業		会社名・学校名など		
住所	〒 -			
健康状態				

緊急時連絡先

ふりがな			続柄	
氏名				
住所	〒 -			
電話	() -	携帯電話	() -	
かかりつけ病院名			診療科名	
担当医名			連絡先 電話番号	

協会主催のワークショップを受講したことがありますか

有り 無し



受講したワークショップの日時: _____年 _____月

場所: _____ (都・道・府・県)

リーダー研修を修了し、本会のリーダー認定を受けられた方には、協会主催のワークショップでリーダーを務めていただきます。その際は、予めご都合を打診いたしますが、ワークショップでは毎週1回2時間半、全6週間(基本的に同じ曜日の同じ時間で)という連続した講座を受け持っていただくことになります。突然体調を崩したりなどのやむをえない事情を除いては、基本的に途中でリーダー交代はできません。このため協会では毎週1回全6週間のワークショップを責任をもって行える方にリーダー研修を受講していただいています。

あなたが協会のリーダーになった場合、ワークショップ開催にどの程度ご協力いただけるかお知らせください。下記の項目で当てはまるものに✓をつけてください(複数回答可)。

予定が入ることもあるが、ワークショップの担当を優先させる
担当可能な曜日 土曜日、 日曜日 平日 (_____曜日)

予定が入ることが多く、あまり対応できない

上記記載内容を補足する内容(リーダーとしてワークショップを担当する場合に活動可能な地域や時間帯、曜日など)について、なるべく詳しくお書きください

「慢性疾患の人のためのセルフマネジメントプログラム」のことをどこで知りましたか？

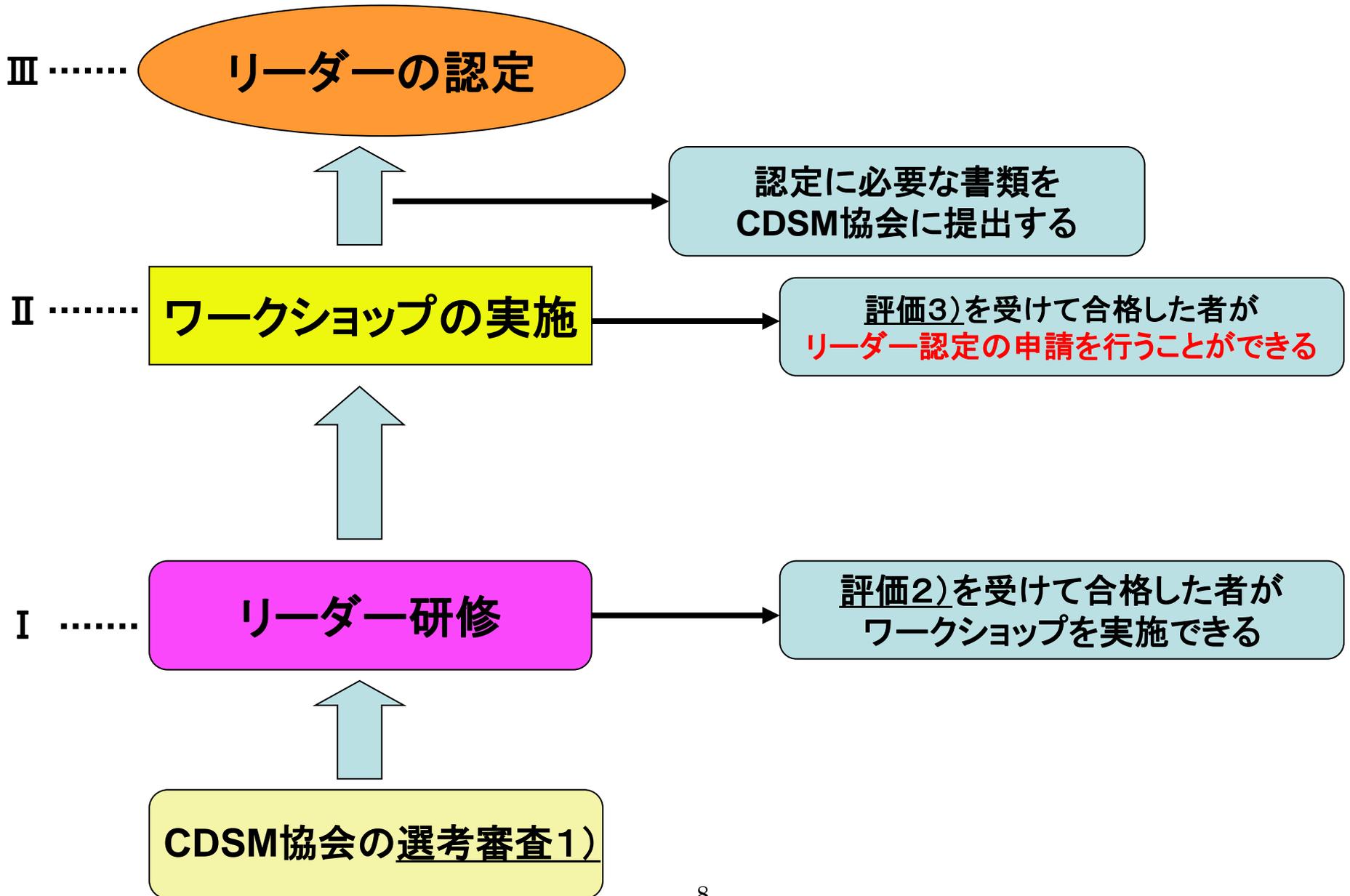
あなたのリーダー研修受講に際し、事務局として何か配慮を必要とすることがあったらお書きください。

※この申込書に、選考レポートを添えてお送りください

慢性疾患セルフマネジメントプログラム リーダー認定の仕組み

NPO法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会(CDSM協会)
プログラム委員会
平成20年2月25日

リーダー認定にいたる過程



評価について

1) 選考審査

- ・CDSM協会のリーダー認定制度の目的を遂行するために、リーダーとしてふさわしい人材かどうか、動機やワークショップの実行可能性などに関してリーダー研修の受講者を選考するための審査。
- ・選考はプログラム委員会が行う。
- ・ワークショップのリーダーからの推薦も可能。

2) リーダー研修の評価 (リーダー認定制度の第Ⅰ段階)

- ・この段階での評価は、CDSMPについての理解度や、リーダーとしての態度や言動などワークショップを運営するためのリーダーとしての知識やスキルがどの程度かを評価する。
- ・評価尺度としてチェックリストを作成して、それを使用する。
- ・評価は、マスタートレーナーによる評価および自己評価の両方によって行い、最終的にはそのリーダー研修を担当したマスタートレーナー全員の合議によって決定する。

注: 今後、「①協会の認定リーダー」と「②リーダー研修を受講しただけで、まだ認定を受けていない者(リーダー認定制度の第Ⅰ段階のみ修了した者)」を区別するため、①を「認定リーダー」、②を「仮免リーダー」と呼ぶこととする。

3) ワークショップの評価 (リーダー認定制度の第Ⅱ段階)

- ・この段階では、ワークショップの運営が一通り、マニュアルに即して実施できるかどうかについて評価する。
- ・毎回のセッション後に、その日の振り返りを行い、問題点や課題を明らかにして、次回のセッションの時にどう対応するかを、パートナーリーダー(※10頁参照)の助言を得て考える。
- ・評価尺度は2)と同じものを使い、パートナーリーダーが記入する。
- ・評価は、記入されたチェックリストをもとにパートナーリーダーの意見を聞きながら、評価を受ける者(仮免リーダー)が受講したリーダー研修を担当したマスタートレーナー全員の合議の下で行い、決定する。

4) リーダーの認定 (リーダー認定制度の第Ⅲ段階)

- ・ⅠからⅢまでの段階を修了した受講者は、CDSM協会に認定申請書および各段階の修了証を提出する。
- ・CDSM協会事務局は所定の書類が整っていることを確認した上で、申請者に認定証を付与する。

パートナーリーダーについて

1) パートナーリーダーとは

・CDSM協会のリーダー研修を受講して認定リーダーを目指すもの(仮免リーダー)が、リーダー認定制度の第Ⅱ段階である「ワークショップの実施」をする際に、いっしょにワークショップを開催し、チェックリストによる評価とアドバイスなどを行うリーダーを「パートナーリーダー」と呼ぶ。

2) パートナーリーダーの条件

以下の2点を、どちらも満たす者とする。

1. 協会の認定リーダーであること
2. 担当マスタートレーナー(その認定リーダーが過去に受講したリーダー研修を担当したマスタートレーナー)の合議の下、パートナーリーダーをつとめることが可能であると判断された者

3) 補足事項

・上記の条件を満たしパートナーリーダーとなった者については、仮免リーダーとともにワークショップを開催する際に、担当マスタートレーナーがそのパートナーリーダーの経験などを考慮して、場合によっては全6回中の1～2回、マスタートレーナー1名を派遣してワークショップの様子を見ることがある。

リーダー認定申請資格の失効について

リーダー認定申請までの期間

- ・リーダー認定を申請できる期間については、リーダー認定制度の第Ⅰ段階修了日(リーダー研修を受講し、マスタートレーナーの評価を受けて修了書を取得した日)から**2年間**を期限とし、この期間内にリーダー認定の申請をしなかった者のリーダー認定申請資格は失効するものとする。
- ・リーダー認定申請資格が失効した者は、協会にリーダーマニュアルを返却することとする。
- ・リーダー認定申請資格が失効した後にリーダー認定を受けようとする者は、協会のリーダー認定制度に基づき、もう一度リーダー研修に応募、選考に通った上で受講するところから始めなくてはならない。なお、この場合のリーダー研修受講にかかる宿泊・交通費などの経費は自己負担とする。